

楽暮(らぼ)プロジェクト主催・筋ジストロフィー協会宮城県支部後援

平成30年2月3日(土) 13:30~15:45実施



視線入力で新しいコミュニケーション支援 研修会報告 (in仙台)



講演



講師 伊藤 史人 (ふみひと) 氏
島根大学 総合理工学研究科助教

講師伊藤史人氏が中心になって開発した視線アプリ「EyeMoT」アイモットの受賞動画から始まり、なぜこれが必要なのか・そのために支援する側はどうすれば良いのかを、丁寧に説明して頂きました。講演中に田中あかりさん・小学3年生の琉花さんの生出演もあり、視線入力の最前線を見ることが出来ました。

支援される側も皆が自宅に来て楽しいような雰囲気作りと、支援する側は必要ならば出来ない言い訳をせず工夫し、支援していくことが必要ではないかと話されていました。講演の内容に引き込まれ、時間を忘れるくらいの短い時間でした。

『スケジュール』

- 13:00 受付開始
- 13:30 オープニング
- 13:35 講演:伊藤史人氏
- 14:35 休み
- 14:45 ワークショップ・体験会
- 15:45 クロージング

ワークショップ

★視線入力体験会

・前半は3班分かれてTobii4C+EyeMoTで視線入力を実際に体験しました。また Orihime eye体験版、身体に装着して使用するワイヤレスマウスZONO体験(テクノツール田代さまから借用)、TCスキャンの体験などを実施。後半はそれぞれ興味のあるところでの機器体験とお互いの情報交換・収集をそれぞれ行いました。



追記:

県外からも多数参加され、伊藤史人氏の研修会に対する関心の高さが感じられました。募集人数40人に対し、締切後に「どうしても参加したい」との声が多数あり、最終的には会場収容人数54人ギリギリに膨れ上がりましたが、希望者全員に参加していただきました。ワークショップでは少しご不便をおかけしましたが、皆さんが体験することができました。

講師・伊藤氏も執筆されている雑誌『はげみ・視線入力であらゆるコミュニケーション』を会場で販売したのですが、持って来て頂いた分40冊完売することができました。

多くの方々の協力のお陰で、研修会を開催することができ感謝しております。講師の伊藤氏はじめ参加して頂いた皆様、本当に有難うございました。

